



211

大声でつぶやく けったいな町医者

作家・医学博士 長尾和宏

時はあんなに元気だったのに。イヌを車に乗せて家族でお買い物に行ったそう。わすか獣医さんは、イヌやネコも心臓マッサージをしかつたのでイヌを車内に残した。イヌは家族のバッグの中にあつたお菓子をみつけて食べて窒息して死んだ。お菓子をほとんど食べて、よほどお腹が空

いていたのか最後の一切れが喉に詰まった。ピンピンコロリの突然死でもなかった。動転した家族はイヌの救急病院に救急搬送して心肺蘇生を試みたらしい。

心臓マッサージ、気管内挿管、人工呼吸、点滴、でも蘇生せずに死去。しょうがないね。その医療費は何十

円。祭壇にある山のよな花は、イヌ仲間か

りにも立派で、僕が死んだ時はそんなものいなあと嫉妬したりした。イヌの死去の話

したら、会話ができない寝たきり患者さんの頬に涙が流れた。今日も訪問したけい。

先日、その家を訪問したら祭壇があり20個くらいのお花が飾つてあつた。一瞬、その在宅患者さんが僕の知らない間に亡くなったのかと思ひ驚いた。思わずベッドに横たわる在宅患者さんを見たらしっかりと呼吸をしていた。「ええ？ 誰が死んだん？」と聞くと、家族はそのアイドル犬の遺影を指差した。

え？ 先週訪問した

今日も訪問したけい。